

平成23年度【啓成中学校区】
学校関係者評価結果（概要）

平成24年8月 芦別市教育委員会

1. 西芦別小学校

(学校関係者評価委員会からの総合的な意見)

- ① (学校運営) 時数の確保と指導内容が改善され、最良の環境と教育が提供されている。校長、教頭、教職員等一体となって学校運営を行えている。更なる向上を。
- ② (教育課程学習指導) 小規模校ならではのきめ細かい授業が出来ており、児童と教職員の信頼関係が構築されていると感じた。学力向上のため、長期休業中も学習会を開催するなどにより努力の結果が伴ってきているのは高評価。家庭学習は日々の積み重ねが重要であり、保護者アンケートでもポイントが低いことから改めて取り組みをお願いしたい。
- ③ (道徳教育、心の教育) 外部講師を有効に活用している。学校と保護者、地域が一体となり対話することが重要。
- ④ (生徒指導) 不登校の児童が一人もいないことは先生方の努力によるものと評価する。
- ⑤ (特別活動) ゲストティーチャーの活用による魅力ある活動がなされており特別活動については大変良く感じた。
- ⑥ (研修) 数多くの研修に参加し自己研さんに努めていることが認められる。
- ⑦ (保護者、地域との連携) 保護者と地域との連携がうまく行っている。今後とも連携を密にしてほしい。
- ⑧ (施設・設備・事務) 学校全体が明るく清潔な印象を受ける。整理整頓も良い。
- ⑨ (総合的な意見) 重点目標が明確であり、目標達成のため全職員が一つとなってい努力されたことが認められる。また、地域や外部からの取り込みを学校環境づくりに活かしている。児童数の減少が深刻だが、デメリットを逆に武器にするようなアイデアと取り組みに今後も期待する。

2. 上芦別小学校

(学校関係者評価委員会からの総合的な意見)

- ① (学校経営) 上小カラーを打ち立てたのは紛れもない努力の賜物、経営の成功例の模範である。今後も現状に満足することなく努力を継続してほしい。
- ② (学習指導) 学力が向上している。T・T や専科の取組の結果がもたらしたもので大変素晴らしい、今後も更なる学力向上を目指し取り組むことを望む。
- ③ (生徒指導) 登下校の児童の姿や交通ルール遵守の様から指導は行き届いていると感じるが、今後も更なる改善に努めてほしい。
- ④ (健康・安全教育) 怪我等の安全指導と併せて施設の安全点検の取組を行って欲しい。

- ⑤ (研修)「読書」に力を入れている印象、更なる習慣化の取組に期待する。各研修に参加するようお願いします。
- ⑥ (保護者・地域との連携)学校行事の保護者等の関心・参加度合いが高い。地域交流も校長が中心となり実施しておりとても良い。今後も継続を。育成会や老人クラブとも連携を良くとり、信頼関係が出来ている。
- ③ (総合評価)・校長を中心に学校がまとまり、しっかり運営されていると感じた。教職員の理解も深まり、地域、他団体との連携も充実しており、学校全体が明るくなり、より良い学校づくりができています。
 - ・保護者・児童アンケートも細部まで分析し、中間評価を行い学校改善に向けた意欲が伝わってくる。今後は改善の方策の着実な実行が望まれる。

3. 野花南小学校

(学校関係者評価委員会からの総合的な意見)

- ① (学習指導)小規模校ならではのきめ細かい授業が出来ていると感じた。家庭学習の定着に尽力している、日々の積み重ねが重要であり、今後も継続指導願います。
- ② (道徳教育)親密な地域、保護者との連携で授業以外でも生きた「実践道徳」を学んでおり素晴らしい。改善の方策が良く示されている。更なる向上を期待する。
- ③ (生徒指導)自立した心を育む指導ができています。「いじめ問題」は小規模校でも起こりうる危機感を持っている。今後も児童の変化を見逃さず早期発見・対応に努めてほしい。
- ④ (健康・安全教育)地域的に家と学校の距離が遠い児童もいることから、更なる交通安全指導や地域との連携により児童の安全確保に努めてほしい。
- ⑤ (研修)先生方には時間的制約もあろうかと思いますが、今後とも出来るだけ研修に参加頂き指導技術の向上に努めてほしい。
- ⑥ (保護者・地域との連携)地域や保護者との連携も良く、学校行事等の円滑な実施に役立っていると感じる。今後も継続した取り組みを進めてほしい。他校との交流について、更なる取り組みを期待する。
- ⑦ (施設設備)昨年度まで利用されなかった天文台の活用を評価する。継続した取り組みに期待する。また、今後は天文台を扱える指導者の育成も必要である。
- ⑧ (総合的な評価)恵まれた地域性を学校環境に最大限活用しており、学力向上だけでなく児童の自主性尊重や生徒指導についても熱心に取り組んでおり評価できる。教職員の指導意識も高く、教職員と児童の一体感が感じられる。小規模校としての児童数が少ないことでの問題があるとは思いますが、学校と地域が協力しながら児童の成長を見守ってほしい。

4. 啓成中学校

(学校関係者評価委員会からの総合的な意見)

- ① (学習指導) 夏冬2回計6日間の学習会の実施は素晴らしい試みであり、今後は参加者が更に増えるよう取組を期待する。学力向上のために校長はじめ教職員一体となって取り組まれ改善が見られる。更なる学力向上を目指し取り組み継続願いたい。
- ② (道徳指導) 道徳教育は学力とともに生きていく上で大切な部分であり、取り組みの工夫・改善に努め、具体的な改善の方策を期待する。
- ③ (生徒指導) 少ない教職員で生徒に目をかけていると評価でき、取り組みの成果が出ていると思われる。
- ④ (進路指導) 自分の可能性に挑戦する生徒が増えていることが最近の進路状況を見ても一目瞭然であり、評価出来る。今後も三者懇談を複数回重ねることで、生徒の意思を聞き指導を進めてほしい。
- ⑤ (健康・安全指導) 生きていく上で大切な部分であり、工夫・改善を行い取り組んでほしい。大事な成長時期であり、食育の啓発を十分に行ってほしい。
- ⑥ (特別支援教育) 学校全体がアットホームな雰囲気を感じられる、更に家庭との連携強化を図ってほしい。
- ⑦ (組織運営) 校長を中心に学校が変わったと感じる。職員の減員等で大変だと思いが教職員全員でなお一層の努力をお願いしたい。
- ⑧ (研修) 定期的な研究授業の実施等の取組を評価する。時間的な制約があらうかと思うが外部研修等の積極的な参加をお願いしたい。
- ⑨ (家庭・地域団体等との連携) 学校行事等に積極的に地域を取り込んでいることが伺え、顔の見える付き合いに本気で取り組んでいる姿勢に好感が持てる。地域との不深まりが強くなったと感じる。
- ⑩ (教育環境設備の充実) 空き教室の有効活用は地域の活性化にも繋がる非常に期待が持てる素晴らしい試みである。更なる具体化に期待する。
- ⑪ (総合的な評価) 様々な新しい取組みや積極的な多方面への交流等良い意味で変わってきていると感じる。教職員との連携もうまくいっている印象。取り組みの成果が現れてきている。今後も更に取り組みを改善され、教職員一体となって目標に向けて取り組むことを期待する。